



録画映像は
こちらをCHECK

飯島 衛 議員

IIJIMA MAMORU

たいじょうほうしん

带状疱疹ワクチン接種に助成を

【答】助成を当初予算に計上した

問 日本では80歳までに約3人に1人はかかるといわれている带状疱疹だが、このワクチン接種に助成をする自治体が増えていく。町の取り組みは。

答 町長 带状疱疹を予防するワクチンは、50歳以上の人が任意の予防接種として受けることができる。町としては、令和5年度から費用の一部助成を当初予算に計上した。

答 健康子育て課長 生ワクチンは4千円を1回、不活化ワクチンは2回の接種が必要になるため、1万円の助成を2回することを考えている。

問 舗装の老朽化に起因する車両通行時の騒音や振動に関する苦情に対処するため、高崎市は「穴ぼこ改修大作戦」と銘打ち、市道の緊急舗装工事に乗り出すとのことだが、



改善が求められる危険な縁石

町でも実施してはどうか。

答 建設課長 道路の補修要望が数多く寄せられ、その際は職員が現場を確認し、緊急の度合いに応じて、改修工事を実施している。令和3年度では、140件の緊急補修工事を実施している。

問 道路の縁石の端に反射材などが無いため、夜間など見えにくいところがある。

原材料支給事業など創設して自治会などで端の部分をペイントしたり、また、軽微な側溝蓋の設置などを委託できないか。

答 建設課長 道路の維持管理については、町民の皆さまの協力なしには成り立たない。

答 アスレチックやインクルーシブ公園の新設を望む声がある。

問 町長 歩いて行ける身近な公園の整備を望む意見が多数寄せられている。新たに大型遊具などを設置する計画はないが、住民ニーズや公園のコンセプトなどを照らし合わせ、子どもたちが安全に遊べる場の充実に向け、整備を検討していきたい。

問 大型商業施設の開業などにより、特定多数の人の流入が見込まれており、また、

アスレチックなどを望むが

安全に遊べる場を整備したい

答 町長 防犯カメラや防犯灯の設置による犯罪防止の施策、青色防犯パトロール車を貸し出すなど、町全体で協力し合って、防犯対策を進めたい。

答 総務課長 防犯カメラの設置台数を増やすことも含めて、既設カメラの更新時に犯罪抑止に効果的な場所に移設するなど検討したい。



坂田 一広 議員 SAKATA KAZUHIRO



録画映像は
こちらをCHECK

教育の急速なICT化 教育長所感は

【答】ICT環境活用は最適な手段の一つ

問 国のGIGAスクール構想により、町の教育環境においても急速にICT化が進んだ。教育長の所感は。

答 教育長 令和5年度の方針は、考えて行動できる人を育てる教育を目指すこと。考えて行動できる人を育てるための方法は、一つではない。ICT環境を活用した授業は、そのための最適な手段の一つだが、活用すること自体が目的ではない。

問 新学習指導要領では「情報活用能力」は「情報活用能力」を言語能力と同様に学習の基盤となる資力・能力と位置づけているが。

答 教育委員会事務局 長 学校における教育活動を通して、多様な情報や価値観・考え方に触れながら、それらが信頼できるものなのか、偏った考え方に誘導されていないか

など情報を見極め、判断し、自らの考えを持って行動できる力を身に付けていきたい。これも広い意味での情報活用能力と考える。

問 県では高校でSTEM教育として、小・中学校段階では主に総合的な学習の時間を充実させ、各教科などで身につけた知識や技能・考え方を総合的・横断的に働かせて、

こうした学びを行っているかとしていますが。

答 教育長 教科など横断的な学習や探求的な学習などの充実を目指し、今後民間企業の協力を得ながら、小・中学校の子どもたちが本気で解決したいと思える学習を組み立てていくための事業設計について検討を始めた。



売店がリニューアルされた（リバートピア吉岡）

子どもの貧困どう考えるか

答 相対的貧困の見える化調査検討

問 「子どもの貧困」に
対し、町長はどう
考えるか。

答 町長 令和5年度に実施を計画している子どもの貧困調査では、絶対的貧困だけでなく、相対的貧困を「見える化」するための調査項目を検討する。未来への視点を持って、子どもたちの将来の自立を後押しする施策に反映していきたい。

問 町振興公社に経営
コンサルタントが
導入されたが。

答 産業観光課長 売店については、利益率が高いことから3月24日のリニューアルオープンを目指し準備中。

三二解説

※STEM教育
科学・技術・工学・芸術・数学の5つの英単語の頭文字を組み合わせた造語。
科学 (Science)、技術 (Technology)、工学 (Engineering)、芸術・リベラルアーツ (Arts)、数学 (Mathematics) の5つの領域を対象とした理数教育に創造性教育を加えた教育理念。知る(探究)とつくる(創造)のサイクルを生み出す、分野横断的な学び。



録画映像は
こちらをCHECK

小池 春雄 議員 KOIKE HARUO

ハラスメント防止のマニュアルは

答 早期に整備する

問 職場におけるハラスメント問題は年々増加している。ハラスメントを防止するには、全職員の理解を深め、関心を持つことが何より大事である。考えやマニュアルの作成はどのようになっていくのか。

答 町長 パワハラ・モラハラ・セクハラなどは、日常に起こり得る問題と考えている。ハラスメントは人格や尊厳を傷つけるだけでなく、士気の低下や職場の停滞を招く問題と認識している。

答 総務課長 ハラスメント対策要綱は整備されていないが、早い時期に整備したいと考える。

問 LGBTなど性的マイノリティーへの取り組みが注目されているが、職場の中で意識している人は少ないと思う。コンプライ

アンスの観点から対応について伺う。

答 総務課長 過去の研修で男女共同参画の基礎的な知識が身につくように取り組んだ経過がある。これからも研修などで啓発していく。

答 教育長 中学校の校則では、制服や髪形について、男子・女子という表現がなくなった。少しずつだが性別にとらわれない考え方で進めている。

不自由者などへ助成を

答 今後検討する

問 今後のSDGsの取り組みは、未来社会において大変重要である。キーワードは「誰一人取り残さない」であり、17の目標の3番目に、「すべての人に健康と福祉を」とある。視覚・聴覚・肢体不自由者などへ眼鏡・補聴器・補装具などの助成を行うべきかどうか。

答 町長 今後の検討課題とする。

問 SDGsの11番目の目標「住み続けられるまちづくりを」に、基盤整備がある。サントリー西の川久保踏切周辺の道路改良は、町の発展にも重要である。渋川市と協議し、早急に対応すべきだと思うが。

答 町長 渋川市と連携を進めていきたい。



水質汚染への懸念は将来にわたり続く

問 榛東村にあるメガソーラーの下には大量のスラグ碎石が入っていることが確認されている。再三にわたって質問しているが、撤去に至っていない。あの場所は吉岡町の水源の上流にあり、水質汚染が懸念されている。榛東村と協議はどの程度進んでいるのか。

答 町長 ご指摘の通り大変重要な案件と認識している。町の水源であり、水道に影響が危惧されることから、町として大同特殊鋼に対して適切な対応を求めていきたい。榛東村とはスラグ撤去に向けて連携を取り、情報共有を図っていく。